

拠出金名:国際連合食糧農業機関拠出金

国際機関等名	国連食糧農業機関 (英文名称・略称) Food and Agriculture Organization (FAO)				
種 別	国連(事務局)	国連(基金・計画)	国連専門機関	その他	
所管官庁担当課名	農林水産省大臣官房国際部国際協力課				
最近3年間の我が国支払額及びODA率					
単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千ドル)	外貨2 (千)	レ ー ト	ODA率(%)
平成21年度	680,565	6,607		1米ドル = 103円	97.3
平成20年度	585,964	5,186		1米ドル = 113円	96.4
平成19年度	615,377	5,305		1米ドル = 116円	96.6
当該拠出金の目的・用途等		各種プロジェクトの実施			
拠出上位5ヶ国・地域・機関等 (2009年のもの)				国際機関等の財政 (2006-2007年度決算)	
	国 名	金額 (千ドル)	拠出率(注) (%)	当該年度の収入1,874,405千米ドル	
1位	EC	189.7	17.0	当該年度の支出1,774,596千米ドル	
2位	マルチドナー	116.3	10.4	次年度への繰越 99,809千米ドル	
3位	米国	81.4	7.3	会計検査機関名	
4位	スペイン	64.7	5.8	外部監査委員	
5位	UNOCHA	63.4	5.7	(加盟国の会計検査院長)	
日本:13位、拠出率2.2%				(現在の構成員の出身国: インド)	
当該機関等に対する我が国としての評価 (合理化、機能強化のための改革が行われているか、当該機関等の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)					
FAOは、人類の栄養及び生活水準を向上、食料及び農産物の生産、流通及び農村住民の生活条件の改善により、世界経済の成長への寄与を通じて、世界の食料安全保障を達成し、人類を飢餓から解放することを目的とした食料・農林水産業に関する国連専門機関である。その主要任務である食料・農林水産業に関する国際的な検討の場の提供、国際条約等の執行機関、世界の食料・農林水産物に関する調査分析及び情報の収集・伝達、開発途上国に対する技術助言・技術協力の活動において一定の役割を果たしている。					
邦人職員数 うち幹部以上	24人 うち6人	当該機関全体の職員数 及び邦人職員が占める率		919人 2.6%	
邦人職員が占めている幹部ポスト					
ポストの名称		職 員 氏 名		備 考	
アジア太平洋地域事務所長 日本事務所代表		小沼 廣之 横山 光弘		農林水産省出身	
知識・コミュニケーション局IS/ICTプロジェクト管理課長		花岡 靖子			
農業消費者保護局植物防疫条約事務局長		横井 幸生		農林水産省出身	
技術協力局技術協力課長		庄司 ゆり子			
ミャンマー国事務所所長		今井 伸		農林水産省出身	
当該機関重要ポストへの邦人職員送り込みについての具体的な計画					
・FAOへの拠出金額の割に邦人職員数が少ない、いわゆる「アンダーレブ」問題について、①ハイレベル会議等の場においてFAO事務局に改善を要請するとともに、②FAO信託基金事業による邦人専門家の派遣、③任期を終えた準専門家がFAO正規職員として引き続き雇用されるための働きかけ等を行っている。					

(注) 我が国と各国とは会計年度が異なるため、拠出率については暦年となっている。